

令和5年(2023年) 1月号



# 学校だより

睦月

January

ホームページ <http://www.hokushin-j.sapporo-c.ed.jp>

札幌市立北辰中学校

札幌市北区北 18 条西 2 丁目 2-1  
TEL: 011-716-6151  
FAX: 011-716-4172



## 「大きく成長し、飛躍の年に」

校長 小澤 保 範

令和5年(2023年)を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。3学期は1年のまとめの学期であり、4月からの「新しい春」を迎える前の大切な時期でもあります。そのように大切な学期の初めを穏やかに迎えることができましたのも、ご家庭や地域の皆様のおかげであると心から感謝しております。

さて、始業式では生徒たちに次のような話をしました。

本日、元気な皆さんに会うことができ、大変うれしく思います。いよいよ3学期が始まります。「1月はすぐ行ってしまい、2月はすぐ逃げてしまい、3月はすぐ去ってしまう」と言われます。3学期は本当に短い学期で、あっという間に過ぎていくと思います。

3年生にとっては進路が決まる大切な時期、1、2年生にとっては、この1年間の活動の仕上げの時期となります。足下を見つめて落ち着きのある日々を過ごし、来年度につながる充実した3学期にしてほしいと願っています。

さて、今年は卯(うさぎ)年です。卯年は、芽を出した植物が成長していき、茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だと言われています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴にもなります。感染症対策からの閉塞感から解放され、今年は生徒の皆さんにとっても大きく成長し、飛躍の年にしてほしいと思います。

話は変わりますが、中国の故事で次のようなものがあります。「百里を行く者は、九十里を半ばとす。」意味としては、「百里の旅をする人は、九十里まで来たところで、ようやく半分まで来たと考えものだ。」というものです。「一里」は約4kmですから、400kmもの、とても長い旅路を表しています。「長い旅路では、目的地まであと少しの所まで来ると、人はついつい気が緩んでしまい、失敗をしたり災難に遭ってしまうことが多い。むしろ、物事は終わりが近づくと困難なことが多いので、最後の十里は、緊張と努力を忘れずに、より一層気を付けなければならない。」というわけです。

私たちの日頃の生活にも当てはまりそうです。特に3年生のみなさんにとっては、いよいよ受験本番を迎えます。最後まで気を緩めず頑張してほしいと思います。「百里を行く者は、九十里を半ばとす。」です。

この3学期が、みなさんにとって1年を締めくくる素晴らしい「集大成の学期」になることを願っています。

## <2月の主な行事予定> ※変更になる場合があります。



2月1日(水) 2年スキー授業(1,5組)	14日(火) 定期テスト④(1,2年) 2日目
3日(金) 2年スキー授業(2,3,4組)	私立入試A 1日目
6日(月) 書議会	15日(水) 私立入試A 2日目
7日(火) 1年スキー授業(1,3,5組)	16日(木) 私立入試B 下見
8日(水) 全校協議会	17日(金) 私立入試B 1日目
9日(木) 1年スキー授業(2,4,6組)	19日(土) 私立入試B 2日目
10日(金) 公立推薦入試	20日(月) A時間割開始
13日(月) 私立入試A 下見	局・常任委員・書議会
定期テスト④(1,2年) 1日目	24日(金) 全校協議会
新入生保護者説明会	得点通知票配付(1,2年)
	27日(月) 学校諸費引落日

## 「冬休みの反省と3学期に向けて」

1年4組 龍瀧 瑛広



僕の冬休みの反省は、計画性に課題が残ったことです。最初は冬休みの計画表通りに順調に進めていました。しかし、時間がなく、課題をすることができない日があるとまでは考えて計画を立てていなかったため、冬休み後半は、なかなか計画通りには進みませんでした。そのため、せっかくの冬休みの楽しめる日が減ってしまい残念でした。だから、計画を立てるときにもっと色んな出来事を想定して頭を働かせておくことが必要だったと実感しました。また、計画に立てていたことでも、翌日にきちんと終わらせていれば、後になって苦しまずに済んだのだと気づきました。そして、そもそも、毎日コツコツと学習する計画にするべきだったことも痛感しました。

このことから、僕の3学期の抱負は2つあります。1つ目は時間の使い方を工夫させることです。3学期は、これまで習ってきたことの復習が必要になります。だから、全教科の復習をしっかりと行えるように、時間を効率よく使って全教科をバランス良く学習していきたいです。2つ目は、学級代表として事前の準備や計画をしっかりと行い、意識や声かけを高めてくことで今よりもメリハリのついたよりよいクラスにしていきたいです。2年生の時楽しかった、ということだけではなく、良いクラスだったとおもえるようにしていきたいと思います。

最後に、僕は、これまでの反省を生かして3学期の残り少ない日々を大切に、充実させて過ごしていきたいです。

## 「3学期に向けて」

2年2組 寺田 光汰



ぼくは、この冬休みに2つのことを意識して生活していました。1つ目は、勉強についてです。3学期には、2年生最後の定期テストにむけて、塾に行き、総復習をしました。また、家庭学習も強化しました。4月からは、受験生、そして最高学年になるための準備期間として3学期を過ごしていきたいです。そのため毎日の予習、復習をし、良い習慣を今から定着させていくことを目標にしています。2つ目は、部活動です。冬休みでは、基礎練習をメインに個人のスキルアップを目指していました。しかしぼくはケガをしてしまったので、メンバーのサポートと自分自身のリハビリをがんばっていました。4月に行われる春季大会で好成績を残せるよう、がんばります。最後に僕は、時間は有限であるということ意識して、受験や部活動の中体連に向けて時間をむだにせず、充実した3学期をすごしていきたいです。

## 「3学期の必達目標」

3年5組 山本 菜央



必達目標。この言葉はただの目標ではなく、必ず達成しなければならない目標のことを指します。いよいよ今日から始まる3学期。高校受験が控えている3年生はもちろん、4月になれば進級する1、2年生の皆さんにも必達目標があるのではないのでしょうか。私にも3学期中に達成しなければならない必達目標が2つあります。

1つ目は、志望校合格です。これは私だけではなく、3年生全員の目標といえるでしょう。私が受験するのは私立高校で、学力試験ではなく面接試験を受けます。面接だけだからといって面接練習を疎かにしてはいけません。面接試験は、高校側の方々には直接人柄を見極められる場です。生半可な気持ちで受験しては失敗してしまうでしょう。そこで私は、日常生活での態度から見直すことにしました。言葉使いや姿勢は正しいか。ハキハキと聞えやすい声量でしゃべっているかなど、日常生活から気をつけることによって試験本番でも自然な形を保てるようにしました。

2つ目は、バスケの技術向上です。私は夏までバスケ部として活動していましたが、高校に入学してもバスケを続けようと思っています。高校は中学よりも力強いプレイが多く、レベルも段違いです。何度か高校の練習に参加させてもらいましたが、どれだけ自分が下手であるかということを感じさせられてばかりでした。しかし、3ヶ月後には高校生として、プレイしなければなりません。3ヶ月後に高校生レベルの力強いプレイができるよう、筋力アップや自分の武器の強化に今まで以上に真剣に取り組んでいきたいと思っています。

受験本番までの8日間と高校入学までの3ヶ月間、私はこの2つの必達目標を達成できるよう、努力していこうと思っています。そして、中学卒業の日を笑顔で迎えたいです。

## 【吹奏楽部 大会関係】

### ◆第27回 全日本中学生・高校生 管打楽器ソロコンテスト において

11月に行われた動画審査による予選を通過、12月に行われた第13回北海道大会に出場

金賞 マリンバ独奏 2年2組 北谷心響、銀賞 トランペット独奏 2年5組 蓮井 尽

### ◆第59回 北海道管楽器個人コンテスト札幌地区予選

金賞 フルート独奏 2年1組 五十嵐 佳蓮

### ◆第54回 北海道アンサンブルコンテスト札幌地区予選

金賞 金管三重奏 2年1組 朝妻 美月、薄田 紗奈、吉田 ひかり

2月18日に行われる北海道大会に札幌地区代表として出場予定

